

～ ここにも遺跡 ～

城下町の発掘から見えるもの

福岡城下町遺跡

(中央区赤坂・大名・大手門)

福岡城の北側から東側にか

けての一带(中央区赤坂付近)

は、福岡城の築造時に最初に城下町が作られた場所で、その後の福岡の

展の基礎になった地区です。このような

江戸時代の城下町も、歴史を物語る重要な

遺跡として発掘調査が進められています。福

岡城下町遺跡と名付けられたこの遺跡からは、

城下町の変遷が分かる資料が出土しています。

江戸時代には多くの文献記録も残されていま

すが、発掘調査からは実際の人々の暮らしがうか

がわられる遺構や遺物が見つかり、新たな発見につ

ながることも多いのです。

特に江戸後期の郡役所の敷地の調査では織

部焼の茶器など高級な茶道具が出土し、枯

水の庭園があったことも分かりました。

福岡市で城下町の調査が本格的に行わ

れるようになったのはここ数年のことで、まだ

まだ不明な点が多いの

ですが、上級家臣の

屋敷や藩の公的施設

が作られた場所でもあ

り、今後の発掘成果が

期待される遺跡です。



福岡城下町遺跡で見つかった
織部焼・志野焼(第1次調査出土)

→ 10・11月のイベント情報

10月

1,4,8,9日 能古島白鬚神社おくんち行事(市指定無形民俗文化財)

場所:白鬚神社(西区能古719)

9日 飯盛神社流鏝馬行事(市指定無形民俗文化財)

場所:飯盛神社(西区大字飯盛609)

13日 志賀海神社神幸行事(県指定無形民俗文化財)

場所:志賀海神社(東区大字志賀島877)

19日 第4回埋蔵文化財センター考古学講座

「6・7世紀の集落動向 -元岡・桑原遺跡群を中心に-」

講師:菅波 正人氏(福岡市文化財活用部)

20日 香椎宮奉納獅子楽(県指定無形民俗文化財)

場所:香椎宮(東区4-5-21)

20日 一朝軒伝法竹(県指定無形文化財)

場所:西光寺(博多区御供所町6-16)

20日 玄清法流盲僧琵琶(県指定無形文化財)

場所:成就院(南区高宮1-21-7)

20日 今津人形芝居(県指定無形民俗文化財)

場所:さいとびあ(西区西部2-1-1)

26日 板付弥生のムラ「秋祭り」

場所:板付遺跡(博多区板付3-21-1)

29日 畑中の獅子舞(市登録無形民俗文化財)

場所:畑中町内(西区宮浦1947-3)

11月

3日 吉武高木遺跡やよいの風公園「コスモまつり」

場所:吉武高木遺跡(西区吉武)

15日 山ほめ祭(県指定無形民俗文化財)

場所:志賀海神社(東区大字志賀島877)

19・20日 はやま行事(県指定無形民俗文化財)

場所:奈多公民館(東区奈多2-13-2)

福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所:福岡市中央区天神1-8-1

TEL:092-711-4666 FAX:092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること

文化財活用課 TEL:092-711-4666

史跡の整備・活用に関すること

史跡整備活用課 TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課 TEL:092-711-4667

埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること

埋蔵文化財センター TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中!



今年度のロゴ「赤煉瓦文化館」

歴史 の風

ふくおか 文化財だより



Vol.23 2019年10月号

～歴史と未来の交差点～

赤煉瓦文化館リニューアルオープン!



カラフルなライトアップ

日本生命保険の九州支店として誕生

した赤煉瓦文化館は、今年で誕生110

周年を迎えます。また、この建物の設計

者の一人であり、日本近代建築の父と

も称される辰野金吾博士が没して100

年の記念の年でもあります。

天神のランドマークとして親しまれ、さまざまな人の思いによ

って大切に保存されてきた赤煉瓦文化館は、この記念すべき年

に、新たな機能を加えて8月21日にリニューアルオープンを果た

しました。

今回開設された「エンジニアカフェ」は、エンジニアたちが集い、

先端技術を活用して新たな未来

を創造していく交流拠点になりま

す。文化財と先端技術が融合す

る施設は、全国的にも珍しく、文化

財建造物の新たな活用方法とし

ても注目されます。

明治から令和まで、福岡の発展を見守ってきたこの場所

で、新たな歴史が始まります。



エンジニアカフェ

～福岡の秋は待まつりで楽しもう！～

福岡城下町サムライフア秋の陣

福岡市博物館では甲冑・刀剣をはじめとする侍の美術にふれる「特別展 侍 ～もののふの美の系譜～The Exhibition of SAMURAI」開催中（11月4日まで）です。特別展に合わせて、福岡城とその周辺でも、侍文化に親しむ秋祭り「福岡城下町サムライフア秋の陣」（10月5日から11月3日まで）を開催します。

福岡城内各所や博物館に用意された7つの謎をすべて解き明かし、お宝を見つけ出す「福岡城なぞ解きゲーム」（通期）や、



国重要文化財南丸多聞櫓の特別公開および櫓内での盆栽展示(10月5・6日無料)、福岡城の石垣の刻印探しと多聞櫓での武将体験・甲冑試着体験をする「福岡城 お城たんけん」（11月2日要予約・無料）などを実施します。このほか「着物で騎馬体験」（10月5・6日要予約・有料）や和太鼓の演奏会（10月5日無料）などが行われます。ぜひこの秋は福岡城でお楽しみください。

※各イベントの詳細はWEBサイトよかなびで「サムライフア」と検索するかQRコードを読み込んでください。



ホームページ（よかなび）

<https://yokanavi.com/event/180486/>

～文化財の保存活用に関する基本方針～

みんなの力でお城をきれいに

－石垣除草ボランティア－

福岡市が今年3月に策定した「文化財の保存活用に関する基本方針（※）」では、文化財の保存活用を、多くの人が関わることで息の長い取り組みとしていくことを目標としています。とりわけ、史跡は、これまでも地域の方々によるさまざまな活動によって保全されてきました。

福岡城は石垣が良く残り総延長は約3,350mあります。長大な石垣は福岡城のみどころの一つですが、反面、広さゆえの維持管理が課題です。このため地元企業や団体の方々のご協力で、普段手の届かない石垣高所の除草をしていただいたり、昨年の「勤マルの日」には、舞鶴公園フラワーボランティアさんが行っている美化活動に、市民の皆さんが参加する取り組みも実施しています。今年度は新たな試みとして福岡テンジン大学さんによる「まちなかピクニック～福岡の史跡をあそぼう～」という授業が実施され、史跡を学び



天神大学による除草活動

体験しながら、石垣除草にご協力いただきました。このように多くの方々の協力によって福岡城の景観は保たれています。

※基本方針を福岡市のホームページに掲載しています。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/bunsei/shisei/bunkazai.html>

～埋蔵文化財センターだより～

学芸員実習生によるサテライト展示

福岡市埋蔵文化財センターは、博物館と同様の事業を行う施設として、毎年8月に学芸員資格の取得を希望する大学生を対象に、学芸員実習を行っています。実習生には本センター職員の指導のもと、収蔵品の整理作業、教育普及、保存処理作業といった実務を学ぶとともに、実際に展示を企画・準備してもらいます。

今年度の実習では、本センター第3展示室で実施中の特別展「こういんめいたち庚寅銘大刀展－国重要文化財指定記念－」の一角に、サテライト展示という形で、6人の実習生が「祈りのキセキ」と題した展示を行いました。



サテライト展示－祈りのキセキー

この展示では、庚寅銘大刀もとおか くのばらが出土した元岡・桑原いせきん さいし遺跡群の祭祀関連資料に着目し、弥生時代の農耕祭祀、奈良・平安時代の律令祭祀（国家主導の祭祀）についてわかりやすく解説しています。



律令祭祀資料『解除木簡』（元岡・桑原遺跡群15次調査出土）

この展示は令和2年1月26日（日）まで見ることができます（月曜、年末年始は休館）。学芸員の卵である実習生たちの成果を、ぜひご覧ください！

福岡市埋蔵文化財センター ホームページ

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>

